

Customer Confidential

千年カルテ2次利用データベース 利活用サービスのご紹介

一般社団法人ライフデータイニシアティブ
株式会社NTTデータ

目次

1. 千年カルテ概要

1. 千年カルテプロジェクトとは
2. MISSION（ミッション）
3. 目指すべき姿
4. 医療情報の収集について
5. VISION（ビジョン）
6. VALUE（バリュー）

【参考資料】次世代医療基盤法について

【参考資料】製薬企業の次世代医療基盤法に対する期待

2. 千年カルテ2次利用サービス

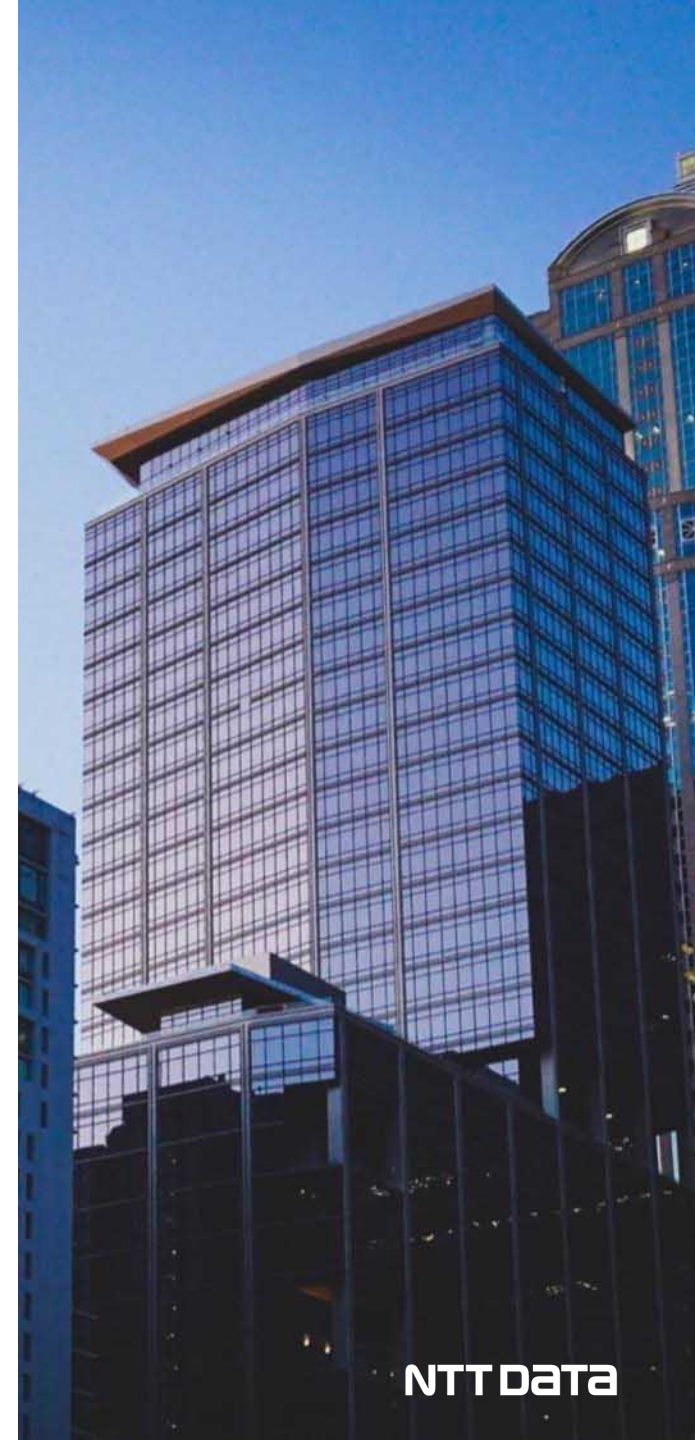
1. 2次利用サービス概要
2. 取り扱いデータ一覧
3. 利用申請から情報提供までの流れ
4. 提供サービス概要

【参考】各部門におけるRWD利活用イメージ

3. 千年カルテ最新状況

1. 利用可能施設と症例数
2. 利活用実績

本資料は2025年3月末時点の情報に基づきます。



1.

千年カルテ 概要



1-1. 千年カルテプロジェクトとは

千年カルテは次世代医療基盤法のもと医療分野における社会課題の解決の一助となることを目指しております。

認定匿名加工医療情報作成事業者 一般社団法人ライフデータイニシアティブ



豊富な研究実績を保有する有識者にて構成されており
アカデミア中心の運営による社会的に信頼のある団体



認定医療情報等取扱受託事業者 **NTT Data** 株式会社NTTデータ

社会インフラ構築で求められる高度なセキュリティ技術や
多業界のシステム構築実績にて培った高いITケイパビリティを保有

認定事業者

千年
カルテPJ

産業 製品開発力低下

製品申請タイムラグ是正
医薬品効能・副作用に関わる
情報精度／スピード向上
医療技術の国際展開

解決すべき社会課題

行政 医療費増大

無駄な医療の低減
個別医療の実現

社会 超高齢社会突入

自身の健康管理拡大
QOL向上による予防医療
持続可能な保険医療提供

1-2. MISSION (ミッション)

千年カルテは医療情報の利活用を通じて、国民の方々に還元し、より良いサイクルを目指しております。



1-3. 目指すべき姿

千年カルテが目指すのは日本の医療高度化に貢献する多目的データプラットフォームです。



患者に寄り添った
医療の実現

患者個別の医療サービスの実現

- 多様な治療履歴データをもとに、患者特性を踏まえた適切な治療法の提案
- 病院から病院への患者の動きを捉え、治療歴を踏まえた適切な治療、予防・予後指導の提案



医薬品開発の
国際競争力強化

治らない病気が治る世界へ

- 未知の疾患要因を見つけ出しアンメットメディカルニーズに応える
- 既存薬の患者特性、診療動態から探りドラッグリポジショニングの短期化を実現

新たな薬を迅速に市場提供

- 治験対象患者を複数施設からクイックに集め
治験の海外流出防止および治験フェーズのコスト・期間を圧縮



医療の
安全性向上

診療現場のホワイトボックス化と改善

- 適正な治療や医薬品の選択が行われているかをモニタリングし、医療安全化に向けた提言
- 従来の医療機関からの申告だけでなく、診療行為の結果から投薬による副作用（あるいは効用）を検出し医薬品の安全な利用に寄与



日本の
医療費を削減

効率的な社会保障システムの実現

- 適正に治療、医薬品の選択が行われているかを客観的に評価し、医療費の適正化・抑制に寄与

1-4. 医療情報の収集について

膨大な医療情報を一気通貫で収集し、問診から処置までの一連の医療行為のデータを取得します。

【一般的な医療行為の流れ】



千年カルテは患者に対する医療情報の一気通貫での収集

1-5. VISION (ビジョン)

千年カルテの医療情報の収集・利活用について順次サービスを拡大予定です。



1-6. VALUE（バリュー）

千年カルテは下記4つの観点で特徴を有しており、RWD活用に適した医療DBです。

安全性

次世代医療基盤法に基づくサービス



認定事業者として国の認定を取得

個人情報保護法では厳格な取扱いが求められる医療情報（要配慮個人情報）の利活用について、次世代医療基盤法に基づいたサービスを提供します。

質と量

Speciality領域の患者確保
（特定機能病院等の確保）



2024年度末に約70施設と契約見込み

希少疾患を始めスペシャリティ領域への先進医療を行う特定機能病院等を中心に病床数の多い中核病院と契約を進めています。

種類

対象機関の電子カルテ
レセプト・DPCデータの保持



電子カルテ(検査値含む) レセプト、DPC調査データを保持

- ・ 薬剤や治療の効果を測定するアウトカム研究
 - ・ 副作用を解析する市販後安全対策（PMS）
- など上記で必要となるようなデータを保持しています。

利活用

高度な分析活用支援
※提供準備中



AI解析（機械学習・深層学習・自然言語処理など）

従来の医療情報解析の支援だけでなく、ビッグデータ化した診療情報から新たな価値を創出するために必要な解析を支援します。

【参考】次世代医療基盤法について

次世代医療基盤法の意義は以下の通りです。

1

個人情報保護法の特則である
次世代医療基盤法

次世代医療基盤法は、個人情報保護法の特則となる法律として、2018年5月に施行された。

オプトインのほか、一定の要件を満たす**オプトアウトにより、医療情報を患者さん・ご家族の拒否が無ければ自動的に・経時的に収集**することが可能

2

医療情報の分散保有

次世代医療基盤法配下では、**医療データを「顕名データ」のまま収集することが可能**な為、分散して保有されている医療データを「名寄せ」「統合」する仕組みが整備されている

3

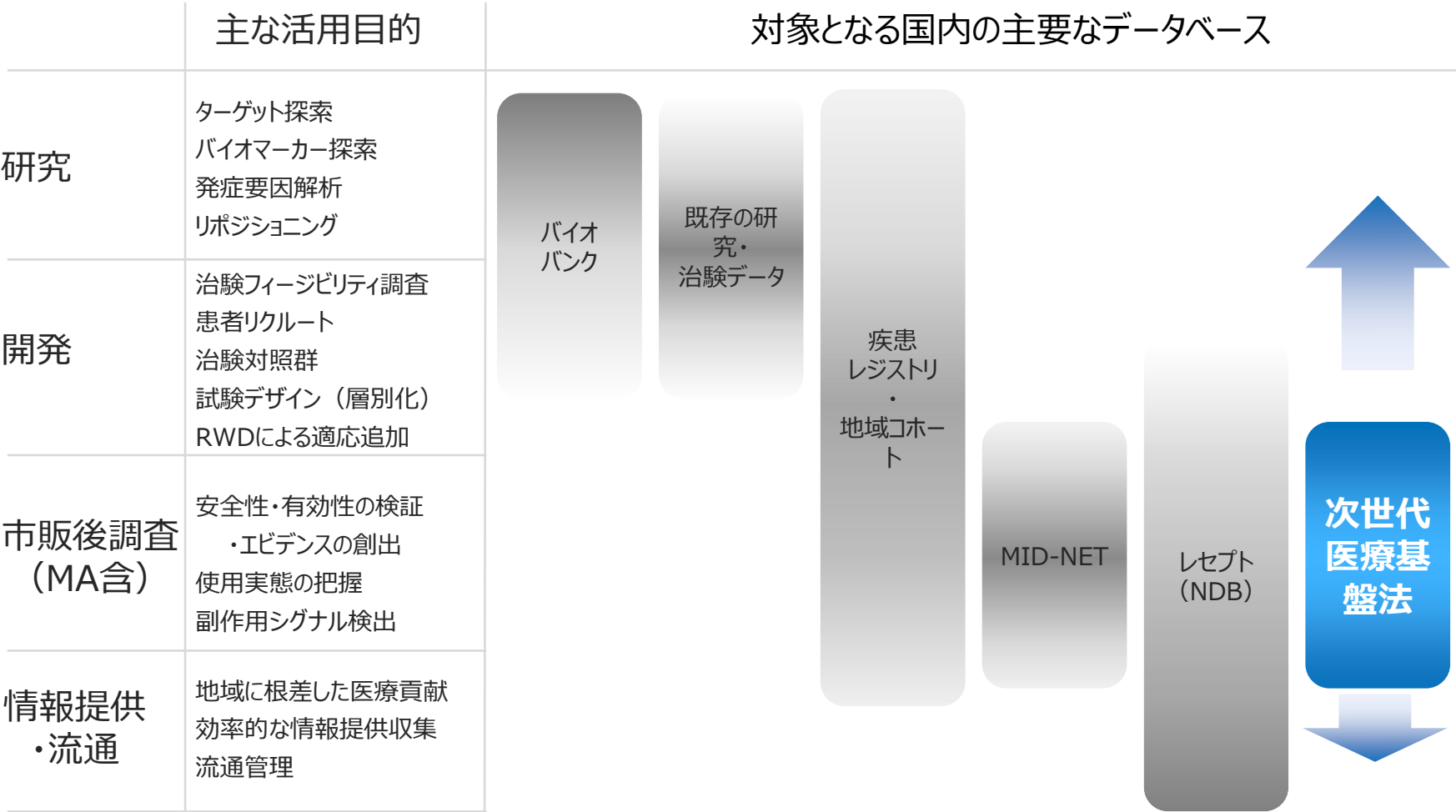
インプットのみならず
アウトカムも含む
医療情報の利活用

レセプトデータは、インプット（診療行為の実施に関する情報）を含むが、アウトカム（診療行為実施後の結果情報）は含まない。

次世代医療基盤法では、アウトカムを含む医療データを活用する為の仕組みが整備されている

【参考】製薬企業の次世代医療基盤法に対する期待

次世代医療基盤法に基づく医療情報の利活用ケースは、主に市販後の有用性・安全性、疫学といった自主研究が中心になるとのイメージがありますが、千年カルテでは実際に研究開発等のユースケースもご相談いただいています。



匿名加工医療情報の利用イメージ

- 薬の有用性・安全性、疫学などの自主研究の利活用が中心
- 非構造化データからアウトカムが得られれば、前向き研究の一部が置き換えられる

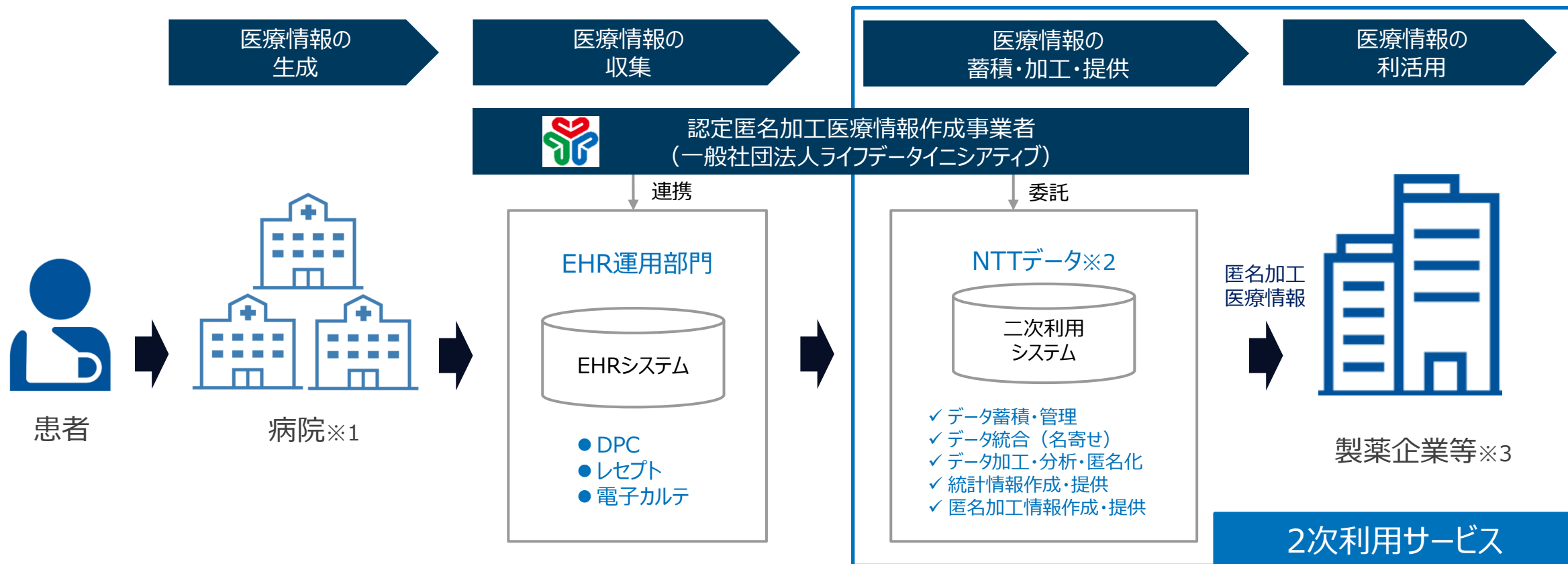
2

千年カルテ 2次利用サービス



2-1. 2次利用サービス概要

医療機関から収集した医療情報を製薬企業等に匿名加工して提供できるシステムであり、医療情報利活用を通じて健康・医療に関する先端的研究開発および新産業創出を促進するサービスです。



脚注：※1 特定機能病院/中核病院/中小病院等 ※2 認定医療情報等取扱受託事業者 ※3 研究機関・行政医療関連機関ほか

2-2. 取り扱いデータ一覧

千年カルテデータは、電子カルテ、レセプト、DPC調査データを保有しており、
実臨床における治療実態の把握やアウトカム評価など、より詳細な分析に用いることが可能です。

千年カルテデータ

- 患者情報
- 保険情報
- 診断情報

レセプトデータ

- 診療行為
- 医薬品情報
- その他

- 入退院情報
- 診断群分類
- その他

DPC調査データ

【構造化データ】

- 患者情報
- 健康保険
- 診断履歴
- 検歴情報
- バイタルサイン

- 体温表
- 処方箋
- 注射記録
- その他

【非構造化データ】

- 経過記録
- 臨床サマリー（退院時サマリーを含む）
- 紹介状
- 報告書（読影レポート等）
- 医用画像

※電子カルテベンダーによって連携モジュールや取り込みに差異あり

電子カルテデータ

2-2. 取り扱いデータ一覧 - 電子カルテデータ（MML） -

電子カルテデータについては、MML4.2.0の規格で収集しています。連携情報・記載状況は、施設・診療科によって記載の粒度は異なりますが、経過記録・臨床サマリーに転記されているケースも多いです。

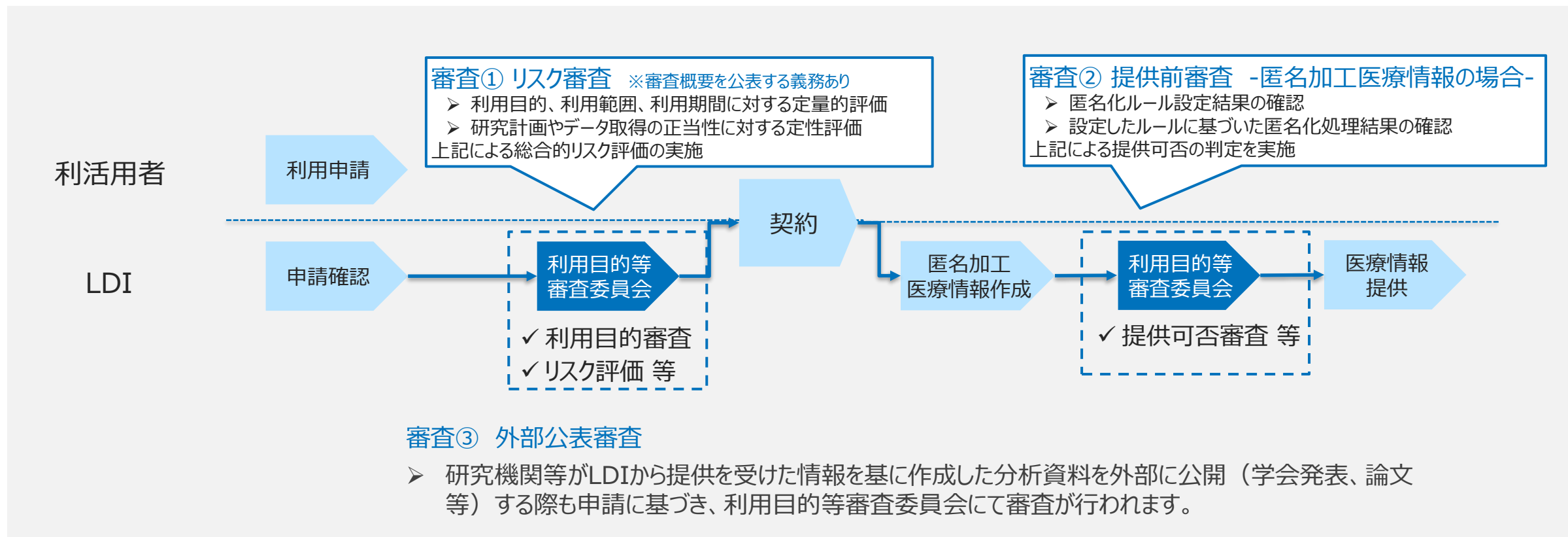
主なモジュール	主な項目（一部抜粋）
患者情報	（氏名）、患者ID、性別、生年月日、住所、国籍、...
健康保険情報	健康保険種別、健康保険者番号、被保険者記号、被保険者番号、...
診断履歴情報	疾患コード、疾患名、疾患開始日、疾患終了日、転帰、...
処方箋	処方日、薬剤コード、薬剤名称、用量、単位、1日の内服回数、服薬開始日、服薬期間、用法指示、頓用指示、総投与回数、投与経路、剤形、追加指示、コメント、...
注射記録	投与日、薬剤コード、薬剤名称、用量、単位、投与開始/終了日時、用法指示、投与経路、投与部位、注射方法、追加指示、コメント
検歴情報	依頼施設/診療科、検体材料、検体材料コード、検査項目名、JLAC10、数値結果、上限値、下限値、基準値、異常値フラグ、単位、... ※血液検査・尿検査
経過記録情報	経過記録の自由記載（自由文章表現、客観的自由記載）、身体所見、検査結果、疾病名、処方実施記録、処置実施記録、検査オーダー、処方オーダー、治療処置オーダー、方針自由記載、...
臨床サマリー	主訴、患者プロフィール、入院までの経過、入院時所見、外来受診状況、紹介元施設、紹介先施設、...
バイタルサイン/体温表	バイタルサイン項目名、バイタルサイン値、計測時間、計測方法、記録コメント、...

2-3. 利用申請から情報提供までの流れ

匿名加工医療情報のご提供においては、利用目的等審査委員会による2段階の審査を実施する必要があります。

研究機関等へのデータ提供までの流れ

医療情報の利活用にあたっては、研究機関等からの申請を基に、利用目的等の評価、リスク値の設定を利用目的等審査委員会（倫理委員会と同等）にて実施し、その結果を受けてアウトプットを作成し、基準に沿った内容となっているかを確認後、利用申請者へご提供することが可能になります。



2-4. 提供サービス概要 - アウトプットのご紹介 -

千年カルテは、「匿名加工医療情報」として個人単位の解析用データセット、集計・統計処理を施した「統計情報」の2種類の医療情報をご提供することが可能です。

匿名加工医療情報

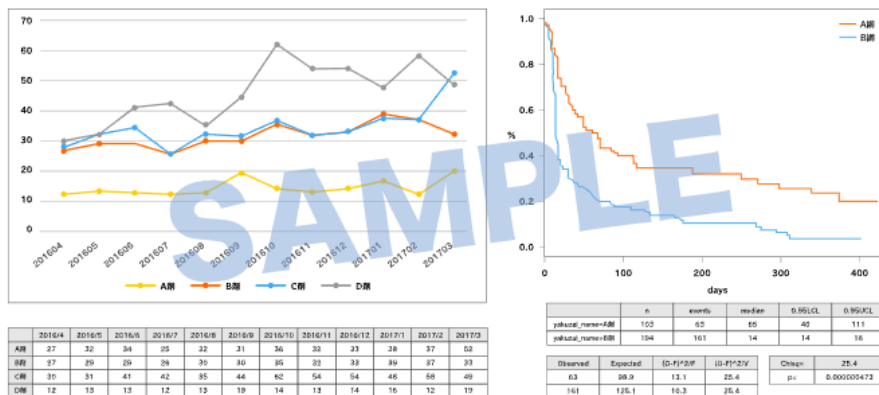
- 匿名加工情報

ローデータに対して匿名化処理を実施することで、個人情報保護法で規定されている匿名化5要件を満たしている情報実データに近いもの

識別ID	施設コード	性別	年齢	検査項目名	採取日	検査値	疾患付与日
da6e7d01e0ae4d8f867c7347dcca1euaoe99uqka2ae12k	大阪府	1	[20-64]	CRP	201805	0.27	199812
da6e7d01e0ae4d8f867c7347dcca1euaoe99uqka2ae12k	大阪府	1	[20-64]	CRP	201811	0.21	199812
ca1euaoe99uqka2ae12kda6e7d01e0ae4d8f867c7347dcc	大阪府	1	[20-64]	[血沈]	201804		199808
ca1euaoe99uqka2ae12kda6e7d01e0ae4d8f867c7347dcc	大阪府	1	[20-64]	[血沈]	201805		199808

- 統計情報

統計処理により、匿名化5要件のうち5号要件（N=1or2）以外を満たす、強い匿名化がなされた情報
ローデータから統計処理を実施した集計データ



ただし、次世代医療基盤法ガイドラインでは、統計情報は特定個人との対応関係が排斥されており、「個人に関する情報」に該当せず、規制の対象外とされています。

2-2 匿名加工医療情報(法第2条第3項関係) 抜粋

なお、「統計情報」は、複数人の情報から共通要素に係る項目を抽出して同じ分類ごとに集計して得られるデータであり、集団の傾向又は性質などを数量的に把握するものである。したがって、統計情報は、特定の個人との対応関係が排斥されている限りにおいては、法における「個人に関する情報」に該当するものではないため、規制の対象外であり、認定匿名加工医療情報作成事業者は作成した統計情報を第三者に提供することができる。

【参考】各部門におけるRWD利活用イメージ

千年カルテは以下のRWD活用シーンの中で利用したいとお問合せをいただいています。

	上市前	上市後
R&D	<ul style="list-style-type: none">アンメットニーズの把握（仮説探索）医薬品承認に向けたDB研究（対照群収集）	<ul style="list-style-type: none">ドラッグリポジショニングや適応拡大の検討
MA	<ul style="list-style-type: none">既存薬における治療実態の把握	<ul style="list-style-type: none">エビデンスの創出（アウトカム評価）
HEOR		<ul style="list-style-type: none">治療実態の把握医療経済性評価
PV	<ul style="list-style-type: none">既存薬における安全性情報収集	<ul style="list-style-type: none">製造販売後DB調査<ul style="list-style-type: none">- アウトカムバリデーション安全性情報収集

3

千年カルテ 最新状況



千年カルテ | 症例数と利用可能施設

レセプト、DPC、電子カルテデータが揃った、大規模病院中心の190万人のデータソースをご活用いただけます。様々な利用ケースへのご期待にお応えが出来るデータベースとなっております。

- 千年カルテ データオーバービュー -

電子カルテデータ

DPC調査データ

レセプトデータ

研究に資する3つのデータセット

- 患者数 -

約 **194.2** 万人

- データ期間 -

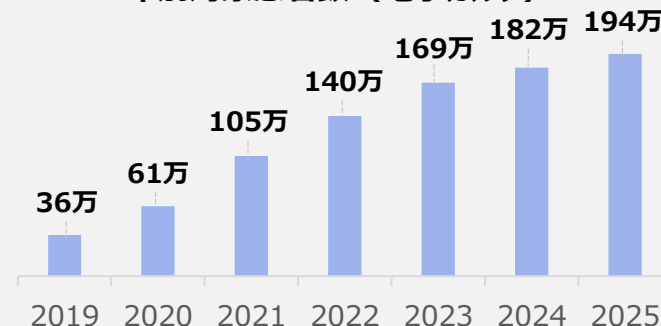
2024年**9**月末まで

※開始は各施設のデータ提供開始月
(2016年1月～)

- 施設数 -

24施設 + **5**施設 (予定)

- 年別対象患者数 (電子カルテ) -



- 契約施設 (平均600床の大規模中心) -

亀田総合病院	国立循環器病研究センター
亀田森の里病院	近畿大学病院
新潟大学医歯学総合病院	神戸市立医療センター中央市民病院
恵寿総合病院	神戸市立西神戸医療センター
福井大学医学部付属病院	神戸市立医療センター西市民病院
静岡県立総合病院	小倉記念病院
静岡県立こども病院	公立八女総合病院
愛知医療センター名古屋第一病院	佐賀県医療センター好生館
長浜赤十字病院	佐世保市総合医療センター
京都大学医学部付属病院	国保水俣市立総合医療センター
日本バプテスト病院	大分大学医学部附属病院
大阪赤十字病院	宮崎大学医学部附属病院

- 予定 -

某クリニック	大阪府済生会野江病院
岐阜県立多治見病院	長崎原爆病院
医学研究所北野病院	

患者数 約**272.4**万人 施設数 **60**施設

3-2. 利活用承認実績

2025年3月末時点、実績48件のうち、ほぼ全ての研究において電子カルテ情報(検歴 or/and テキスト)を活用いただいております。ユースケースの具体例につきましては、弊社担当にお気軽にお問合せください。

利活用実績例

利用目的等審査委員会 承認実績

2024年7月31日時点

No.	承認日	課題名	活用データ項目			活用者区分
			電子カルテデータ	DPC調査データ	レセプトデータ	
1	2020年10月20日	乳癌のサブタイプ別、治療実態を探索するための千年カルテデータのFeasibility	●	●	●	アカデミア
2	2020年10月20日	がん患者の臨床アウトカムにおけるEHRデータベースを用いた評価方法の後ろ向き研究	●	●	●	民間企業
3	2021年1月15日	自己免疫疾患領域における寛解指標のフィージビリティ確認	●	●	●	民間企業
4	2021年3月5日	検査値等を用いたウイルス性肝炎患者研究のフィージビリティスタディ	●	●	●	民間企業
5	2021年5月26日	検査項目の多施設実用手法開発を目的とした研究	●	-	-	アカデミア
6	2021年7月15日	非構造化データの評価方法確立を目的とした研究	●	-	-	民間企業
7	2021年7月15日	希少疾病領域における症状把握を目的としたフィージビリティ検証	●	●	●	アカデミア／民間企業
8	2021年7月15日	乳がんデータ項目に関するフィージビリティ調査	●	●	●	民間企業
9	2021年8月31日	匿名加工医療情報のAI研究への利活用可能性の検討	●	●	●	アカデミア
10	2021年9月28日	心不全データベース研究のためのFeasibility調査	●	●	●	民間企業
11	2021年10月28日	感染症に対するTreatment flow 及び 関連医療費の推計	●	●	●	民間企業
12	2021年10月28日	がん患者の臨床アウトカムにおけるEHRデータベースを用いた評価方法の後ろ向き研究－自然言語解析－	●	●	●	民間企業
13	2021年11月30日	肺がん・乳がん患者の治療実態把握及び病気の進展に関する因果探索	●	●	●	民間企業

1 / 3

※最新の実績については、ホームページをご確認ください。


[利用目的等審査委員会の公表 | ライフデータイニシアティブ / NTTデータ | 千年カルテ \(Idi.or.jp\)](#)


ホーム > 基本情報 > 利用目的等審査委員会の公表


利用目的等審査委員会の公表

医療分野の研究開発に資するための匿名加工医療情報に関する法律施行規則第5条第7号に従い、利用目的等審査委員会（倫理審査委員会）を設置・運営しております。


利用目的等審査委員会

 [組織及び運営に関する規程](#)

 [委員名簿](#)

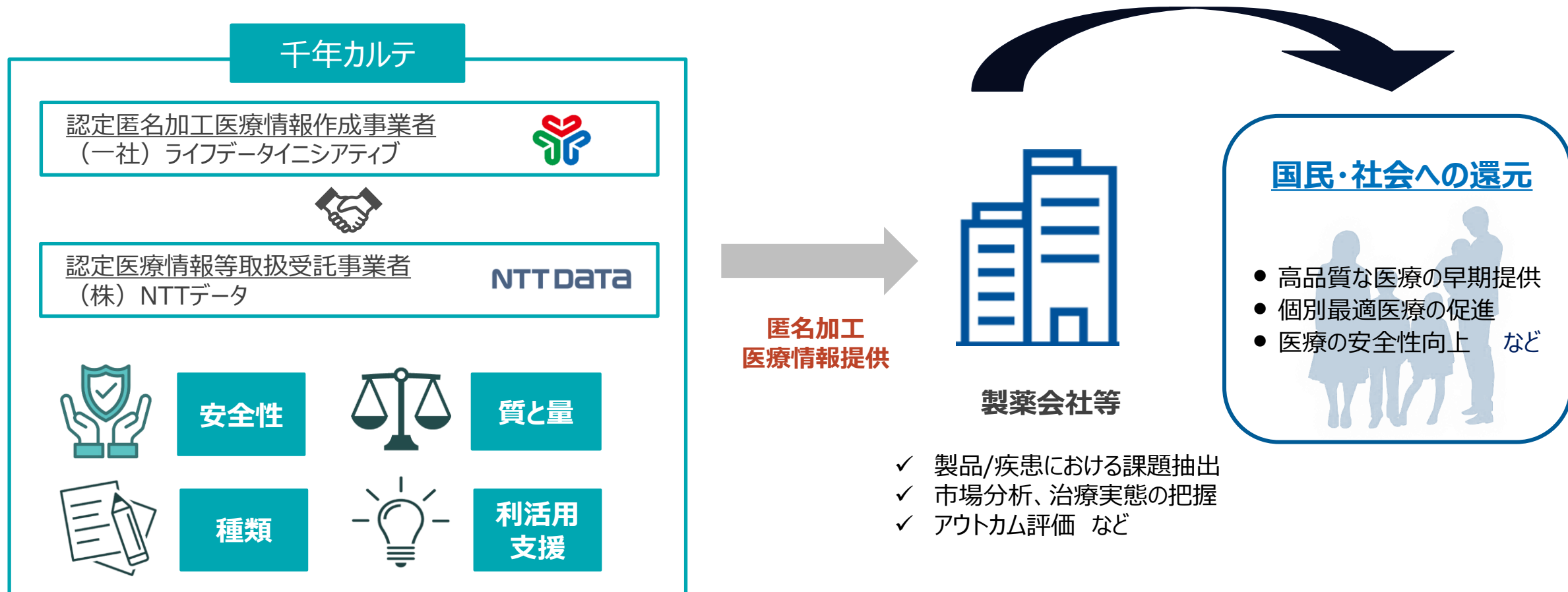
 [利用目的等審査委員会 承認実績](#)

click

 [利用目的等審査委員会 開催状況](#)

まとめ | 千年カルテについて

千年カルテは次世代医療基盤法のもと医療分野における社会課題の解決の一助となることを目指しており、匿名加工医療情報提供のサービスを通じて、お客様の研究開発や新産業創出をご支援いたします。



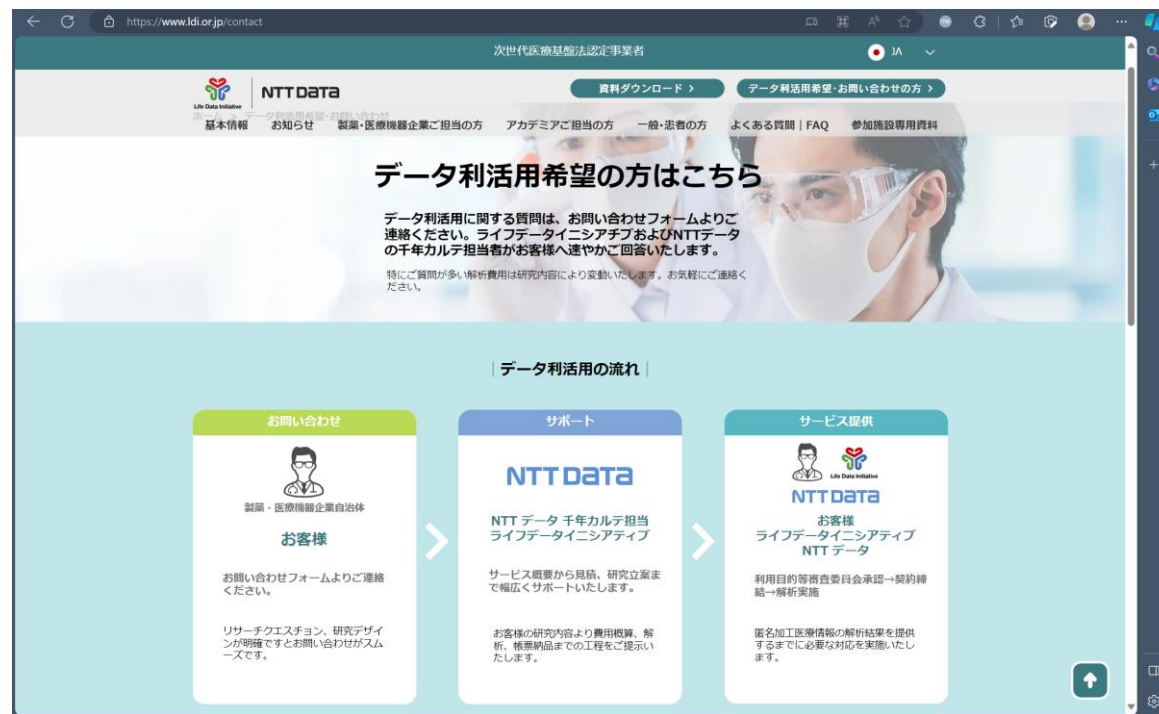
お問合せ先

データ利活用に関するご質問は、千年カルテHPのお問い合わせフォームよりご連絡ください。ライフデータイニシアティブおよびNTTデータの担当者が速やかにご回答いたします。

■ URLからアクセスの場合

[データ利活用希望お問い合わせ | ライフデータイニシアティブ / NTTデータ | 千年カルテ \(Idi.or.jp\)](https://www.lidi.or.jp/contact)

<https://www.lidi.or.jp/contact>





Life Data Initiative

NTT DATA

NTT DATA



Customer Confidential

Introduction of “Millennial Medical Record”

General Incorporated Association Life Data Initiative
NTT DATA Japan Corporation

Contents

1. Overview

1. What is “Millennial Medical Record”?
2. Our MISSION
3. What we’re aiming for
4. How we’re collecting data
5. Our VISION
6. Our VALUE

[Reference] What is the law called “Next Generation Medical Infrastructure Act”.

2. Our service

1. What we offer
 2. List of available data items
 3. Time flow
 4. Output sample
- [reference] Conceptual image of RWD utilization in various sector

3. Recent update

1. Available facilities and data volume
2. Use cases

This document is based on information as of the end of Mar 2025.



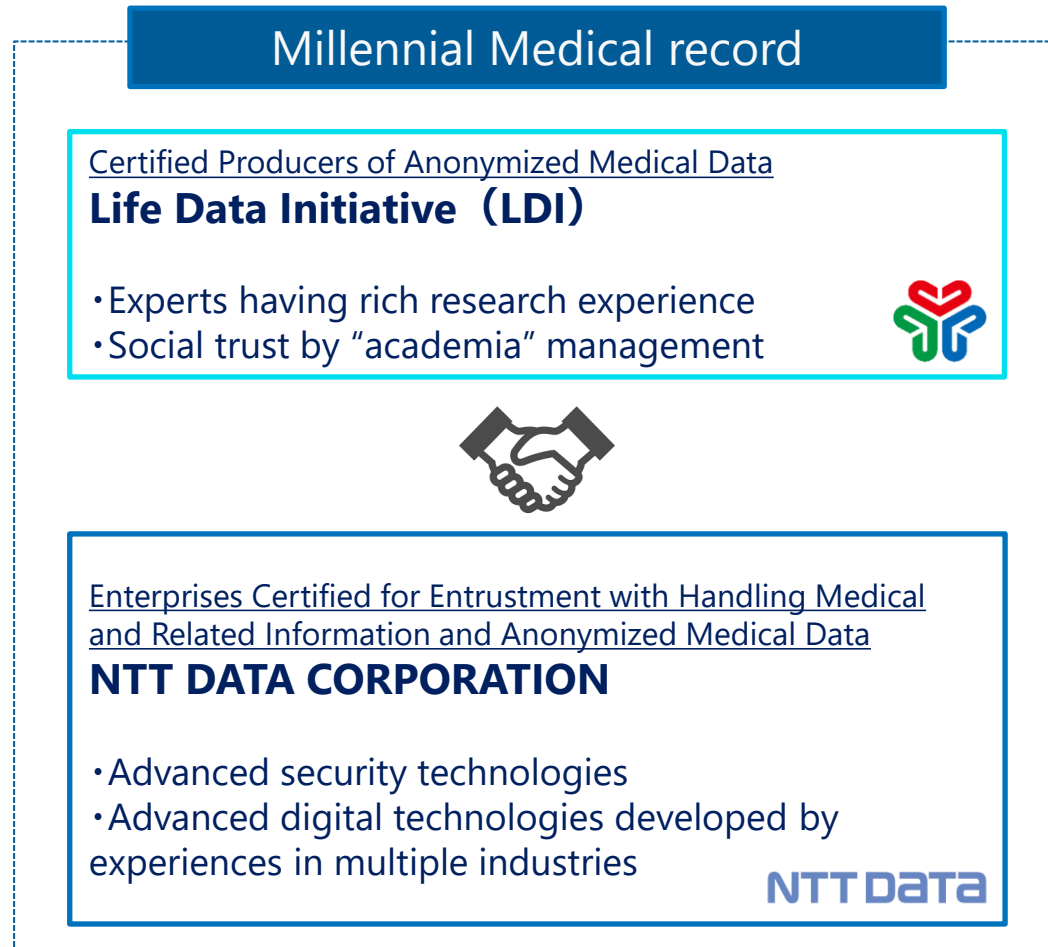
1

Overview



1-1. What is “Millennial Medical Record”?

Millennial Medical Record is developed under the law “Next-Generation Medical Infrastructure Act” to solve social problems in medical field. We’re first national certificated provider of real world data in Japan. We’re aiming to solve social issues and to support research and development in life sciences.



**Pharmaceutical companies
Academies etc**

- ✓ Identifying issues in drugs and diseases
- ✓ Assessment of treatment responses, etc

For more information about the law

[Reference] What is “Next Generation Medical Infrastructure Act”.

The purpose of data use is limited to advanced research and development and the creation of new industry-centered activities in health and medicine in accordance with the law.

医療分野の研究開発に資するための匿名加工医療情報に関する法律

Act on Anonymized Medical Data That Are Meant to Contribute to Research and Development in the Medical Field

平成二十九年五月十二日法律第二十八号

Act No. 28 of May 12, 2017

第一章 総則

Chapter I General Provisions

(目的)

(Purpose)

第一条 この法律は、医療分野の研究開発に資するための匿名加工医療情報に関し、国の責務、基本方針の策定、匿名加工医療情報作成事業を行う者の認定、医療情報等及び匿名加工医療情報の取扱いに関する規制等について定めることにより、健康・医療に関する先端的研究開発及び新産業創出（健康・医療戦略推進法（平成二十六年法律第四十八号）第一条に規定する健康・医療に関する先端的研究開発及び新産業創出をいう。第三条において同じ。）を促進し、もって健康長寿社会（同法第一条に規定する健康長寿社会をいう。）の形成に資することを目的とする。

Article 1 The purpose of this Act is to facilitate advanced research and development and the creation of new industry-centered activities in health and medicine (meaning advanced research and development and the creation of new industry-centered activities in health and medicine as prescribed in Article 1 of the Health and Medical Strategy Advancement Act (Act No. 48 of 2014); the same applies in Article 3) by making provisions for anonymized medical data that are meant to contribute to research and development in the medical field, regarding things such as the responsibilities of the State, the formulation of a basic policy, the certification of persons in the business of producing anonymized medical data, and regulations on the handling of medical and related information and anonymized medical data; and thereby to contribute to the formation of a healthy and long-lived society (meaning a healthy and long-lived society as prescribed in Article 1 of that Act).

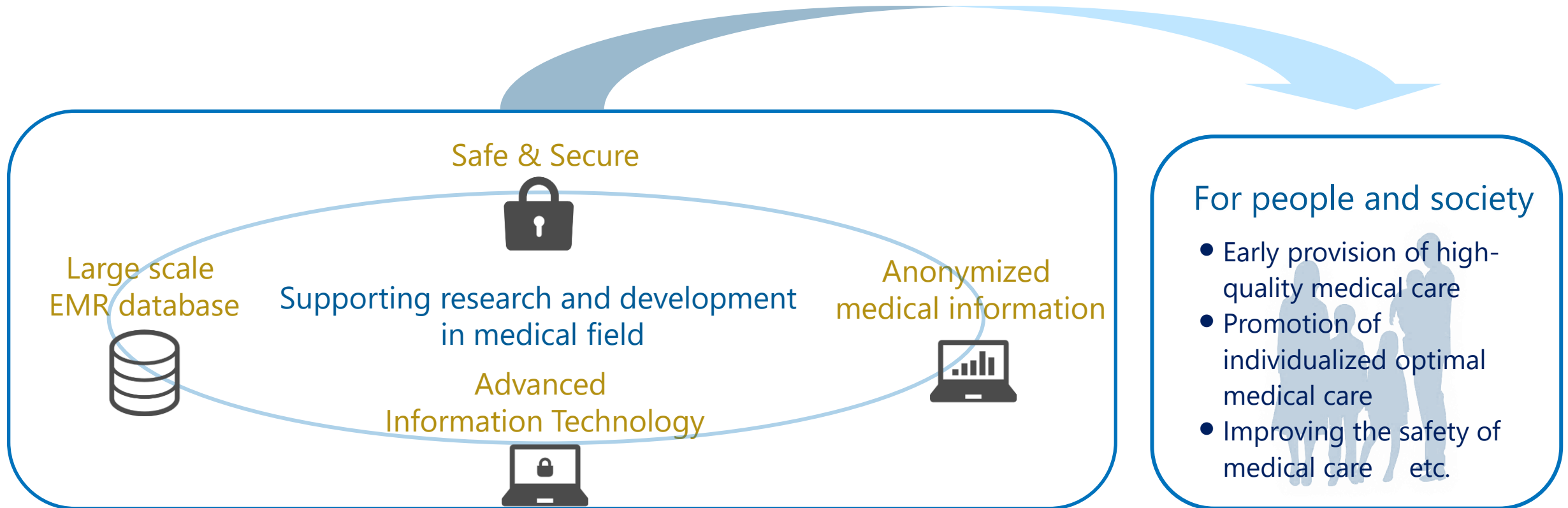
[Reference] What is “Next Generation Medical Infrastructure Act”.

1	The Next Generation Medical Infrastructure Act, a special law on Act on the Protection of Personal Information	The law came into force in May 2018 as a special law Act on the Protection of Personal Information. In addition to opt-in, medical information can be collected automatically and over time if there is no refusal by the patient/family, through opt-outs.
2	Decentralized storage of medical information.	Under the law, it is possible to collect medical data as 'named data' , so that medical data stored in separately can be collated and integrated.
3	Use of medical information, including not only inputs but also outcomes	Claims data contain inputs (information on the practice of medical treatment), but not outcomes (information on the results after the practice of medical treatment). The law provides a mechanism for utilizing medical data, including outcomes.

※ Source: Cabinet Office website.

1-2. Our MISSION

Millennial Medical Records' mission is to give back to the community and improve the cycle through the use of medical information.



1-3. What we're aiming for

We aim to be a multi-purpose data platform that contributes to advancement of healthcare.



**Patient-centered
healthcare**

Delivering personalized patient healthcare services.

- Propose appropriate treatment based on diverse treatment history and patient characteristics
- Capturing patient movement from hospital to hospital and proposing appropriate treatment, prevention and prognosis guidance based on treatment history



**Strengthening international
competitiveness
of drug development.**

Towards a world where incurable diseases can be cured.

- Finding unknown disease factors and addressing unmet medical needs
- Shorten drug repositioning by exploring existing drugs based on patient characteristics and practice dynamics

Rapid market availability of new medicines

- Quickly collect patients for clinical trials from multiple sites, preventing clinical trials from going overseas and reducing cost and duration of the clinical trial phase.



**Improving safety of
healthcare**

White-boxing and improvement of medical practices.

- Monitoring whether appropriate treatment medicines are being carried out, and making recommendations for making healthcare safer
- Contributes to safe use of medicines by detecting adverse effects (or benefits) of medication from results of clinical practices, rather than just from conventional declarations from medical institutions.



**Reducing health care costs
in Japan**

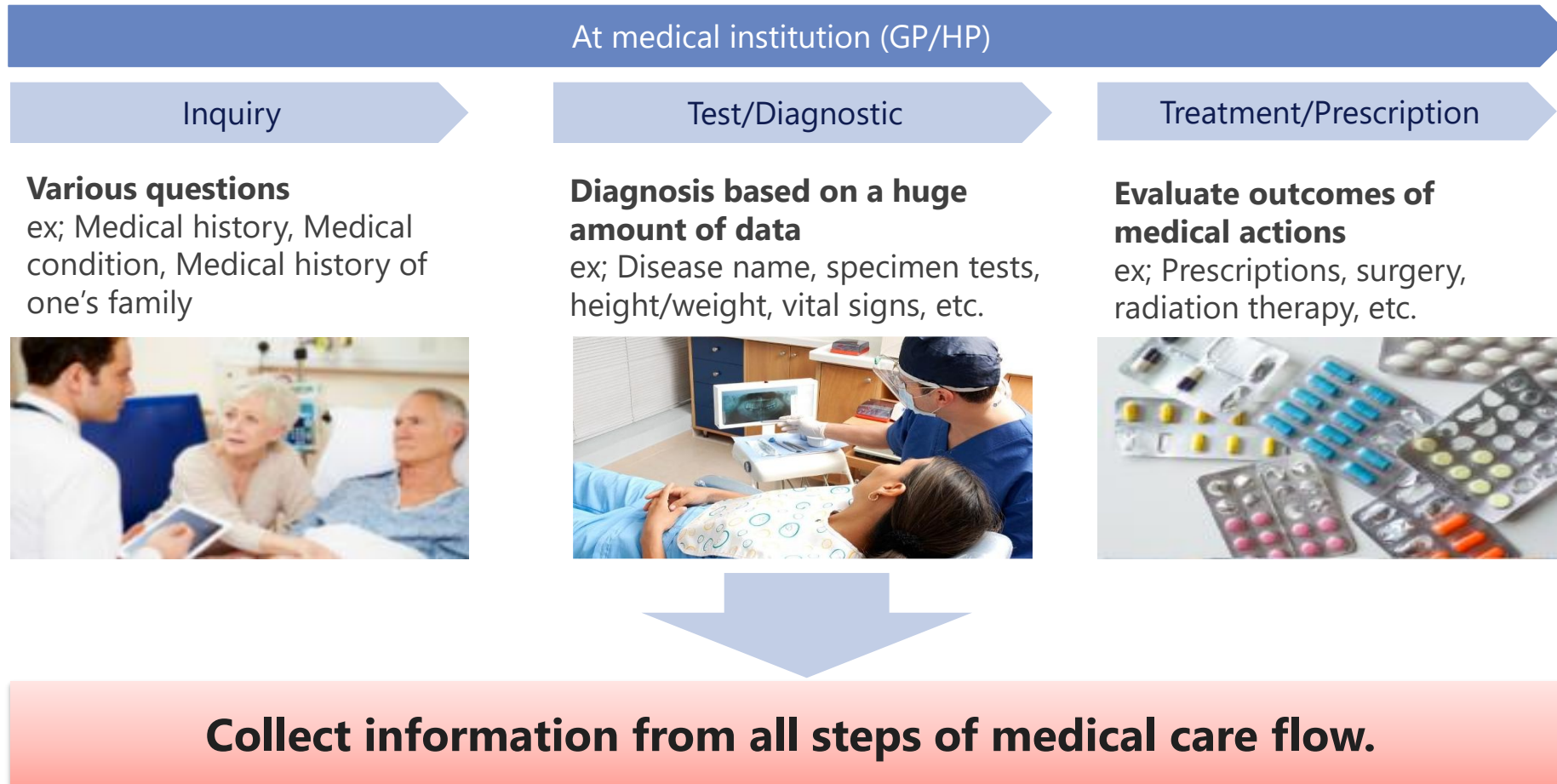
Efficient social security systems.

- Contributes to optimizing and controlling healthcare costs by objectively assessing whether treatment and the selection of medicines are being carried out appropriately.

1-4. How we're collecting data?

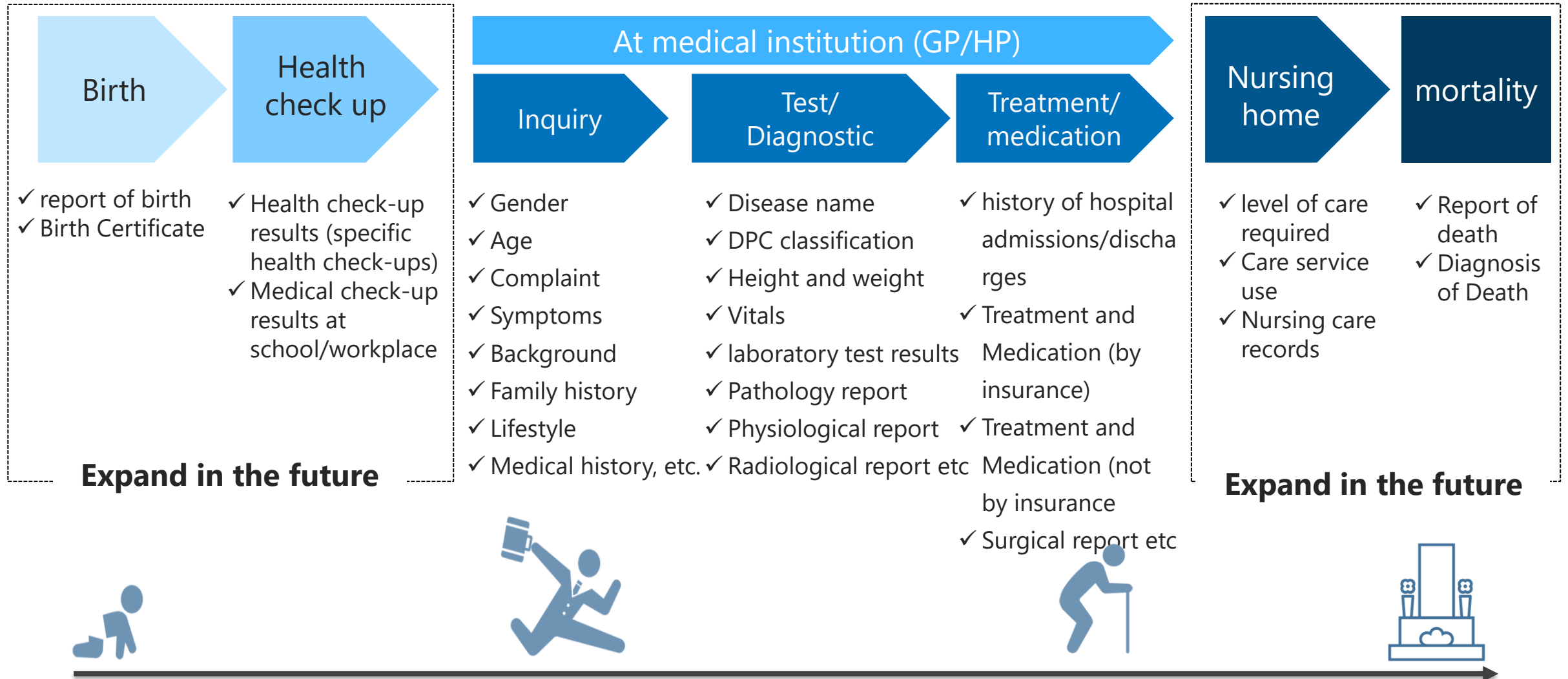
Millennial Medical Record collects a huge amount of medical information from all steps of medical care flow.

[General flow of medical care]



1-5. Our VISION

Services for collection and utilization of medical information in millennial medical records will be expanded gradually.



1-6. Our VALUE

Millennial Medical Record is a medical DB suitable for RWD use because it is characterized by the following four aspects.

Secure

National certified database based on the law



First certificated provider in Japan

We provide data based on the Next Generation Medical Infrastructure Act for utilization of medical data. This is needed strict handling data on the Act on the protection of Personal Information.

Quality & quantity

Patient data in Specialty areas (e.g. hospitals with specific functions)



We'll have over 70 facilities in FY24

We are signing a contract with a core hospitals in Japan. (Especially special functioning hospitals provide advanced medical treatment for orphan disease, oncology and other specialty fields.)

Variation

Claim data, DPC data and Electronic Medical Records



Electronic medical records including lab test results Claims and DPC data

Such as...

- Outcome studies to measure effectiveness of drugs and treatments
- Post-marketing safety measures (PMS) to analyze adverse effects

support

Support for advanced analysis and utilization
*in preparation



Analysis by AI in the future

We support not only conventional medical information analysis, but also analysis required to create new value from big data medical data by machine learning, deep learning and NLP.

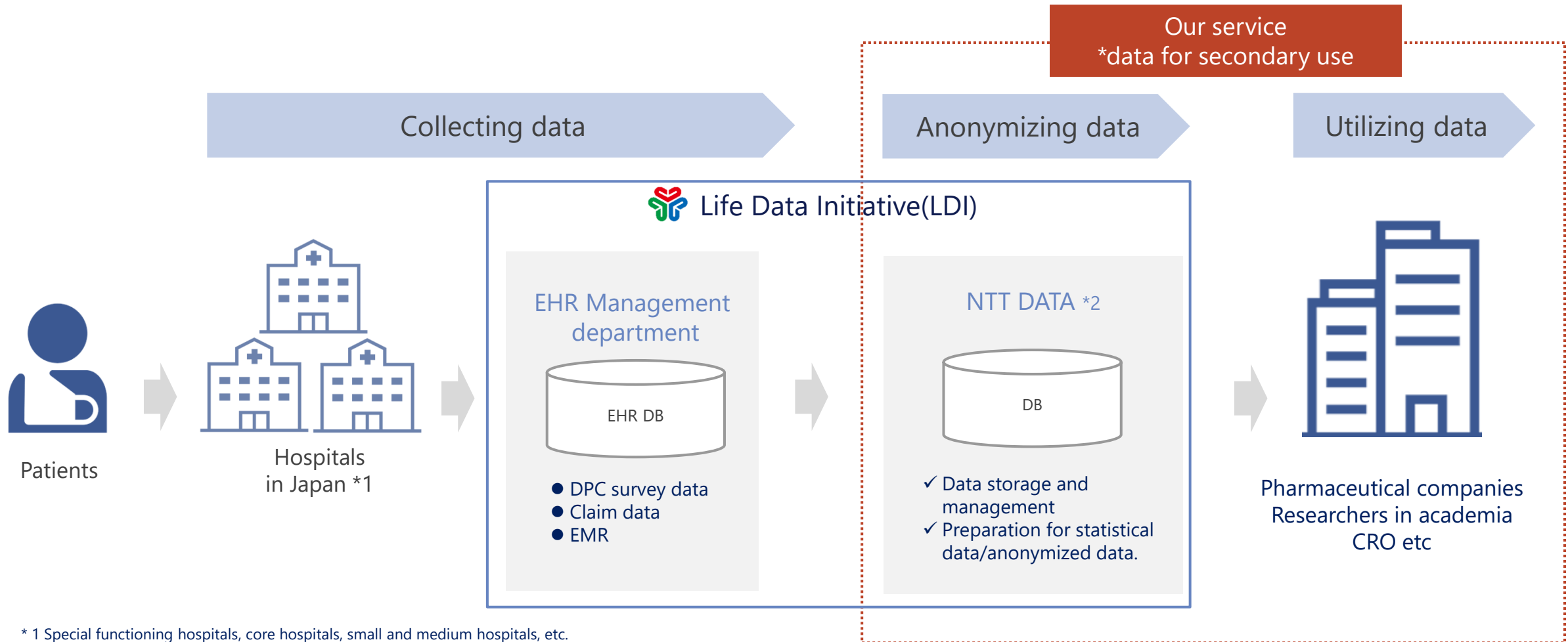
2

Our service



2-1. What we offer

We're making patient information anonymous and providing it to pharmaceutical companies, etc. The purpose is to promote advanced research and development in life sciences and to create new businesses.

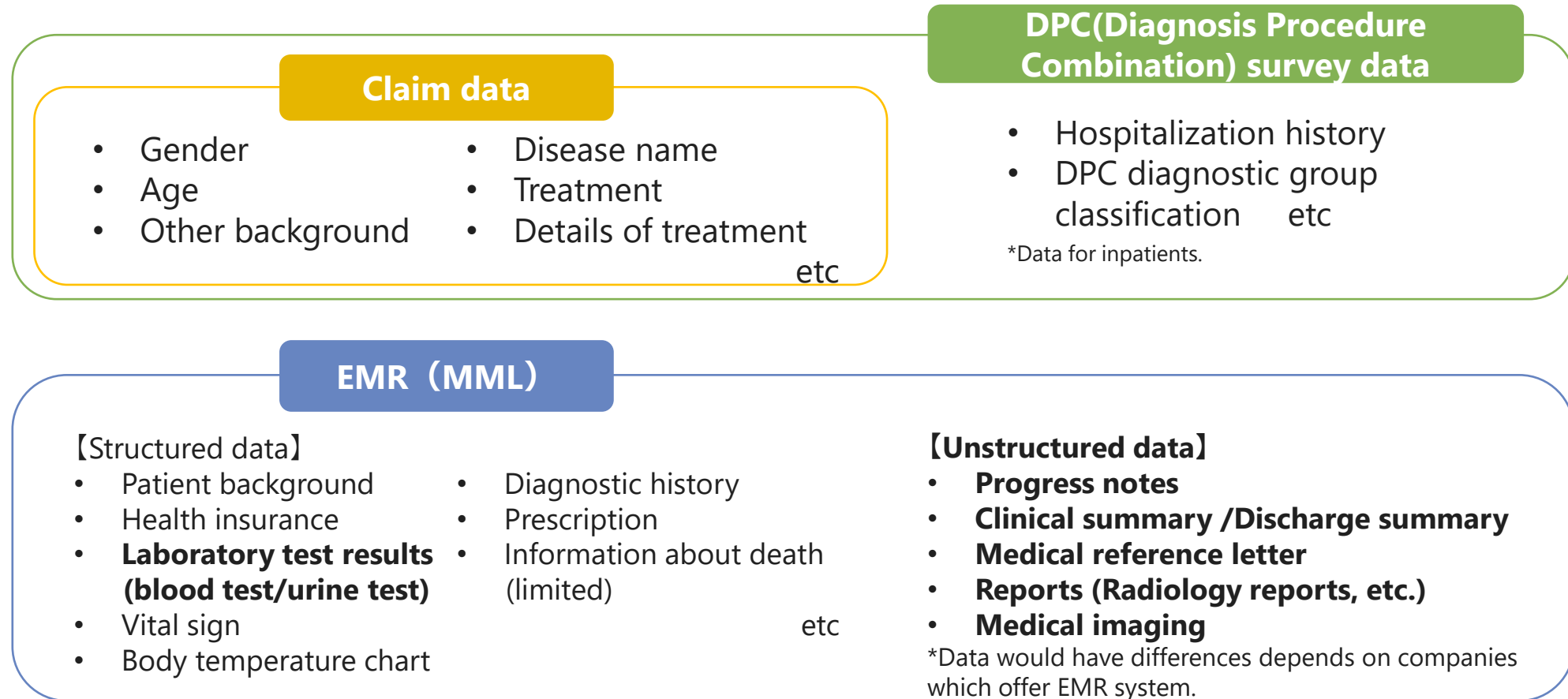


* 1 Special functioning hospitals, core hospitals, small and medium hospitals, etc.

* 2 Enterprises Certified for Entrustment with Handling Medical and Related Information and Anonymized Medical Data

2-2. List of available data item sample

The available medical information is as follows. We're the only provider that have both structured and unstructured text data in Japan.



2-2. List of available data item sample (EMR)

For EMR, data are collected using MML 4.2.0 standard. The granularity of the information and descriptions varies by facility, but in many cases, information is transcribed to progress note and clinical summary. Imaging data is also expected to be collected in the future.

Main module	Main items (Some excerpts)
Patient Information	(name), patient ID, gender, date of birth, address, nationality, ...
Health Insurance Information	Health insurance type, health insurer number, insured code, insured number, ...
Diagnostic history information	Disease code, disease name, disease start date, disease end date, outcome, ...
Prescription	Prescription date, drug code, drug name, dose, units, number of doses per day, date medication was started, duration of medication, dosage instructions, and instructions for abortive use, total number of doses, route of administration, dosage form, additional instructions, comments, ...
Injection records	Date of dosage, drug code, drug name, dose, units, start/end date of dosage, dosage instructions, route of dosage, body part of dosage, method of injection, additional instructions, comments
Test information	Requested facility/department, laboratory material, laboratory material code, test name, JLAC10, numerical results, upper limit value, lower limit value, reference value, abnormal value flag, units, ... *Blood test/urine test

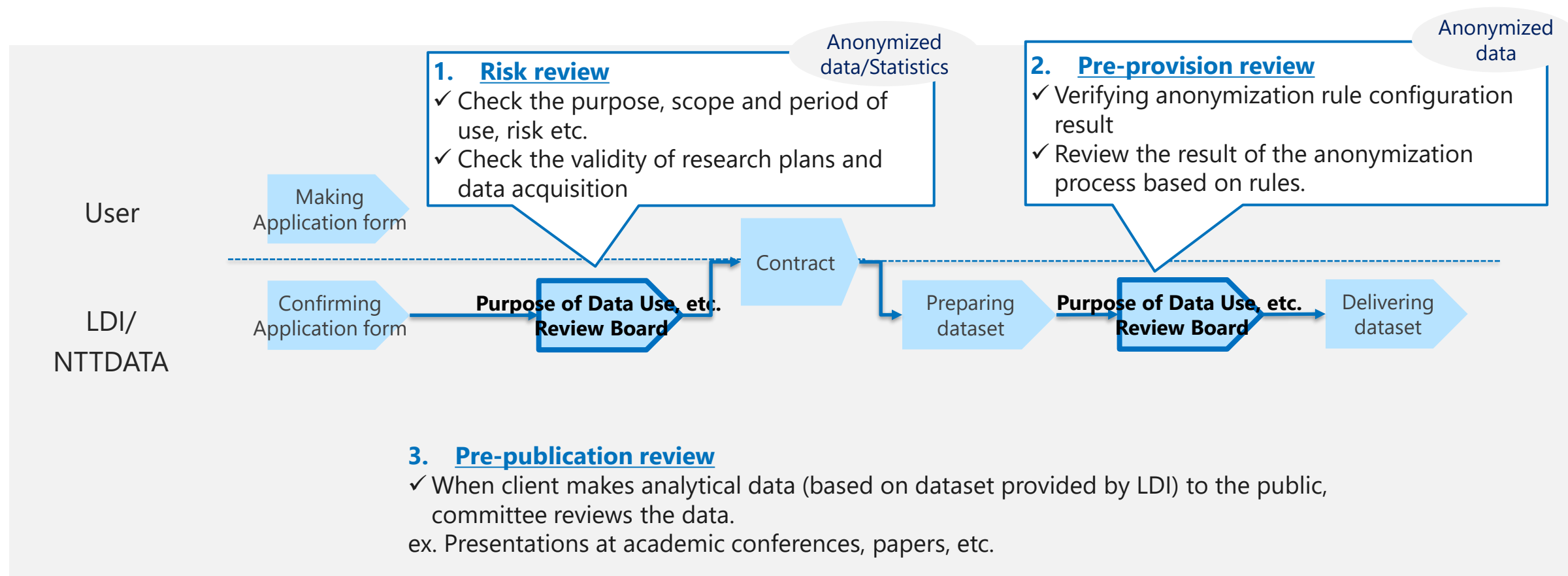
2-2. List of available data item sample (EMR)

For EMR, data are collected using MML 4.2.0 standard. The granularity of the information and descriptions varies by facility, but in many cases, information is transcribed to progress note and clinical summary. Imaging data is also expected to be collected in the future.

Main module	Main items (Some excerpts)
Progress note information	Free description of progress note (free text, free description), physical findings, test results, disease name, prescription implementation record, treatment implementation record, test order, prescription order, procedure order ...
Clinical summary	Chief complaint, patient profile, progress to admission, findings on admission, outpatient visits, referring facility...
Vital signs/temperature chart	Vital sign item name, vital sign value, measurement time, measurement method, comments...

2-3. Time flow

When using our dataset, “Purpose of Data Use, etc. Review Board” (Similar to IRB) evaluates purpose and sets risk values based on applications from users. LDI/NTTDATA will prepares data and provides it to users after confirmation that the content along with the standards. The committee judges in following up to 3 steps



2-4. Output sample

We provide 2 types of medical information, anonymized data and statistical data.

- **Anonymized individual data**

Data meets the requirements by the Act on Personal Information Protection.

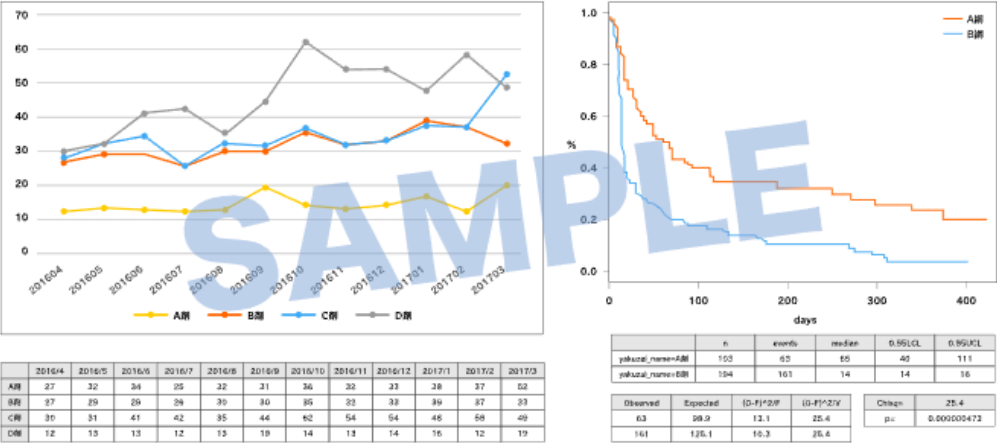
By anonymizing raw data, this is close to real data.

ID	Facility area	Gender	Age	Lab test name	Tested date	Lab test results	Diagnosis date	...
識別ID	施設コード	性別	年齢	検査項目名	採取日	検査値	疾患付与日	(other variables)
da6e7d01e0ae4d8f867c7347dcca1euaoe99uqka2ae12k	大阪府	1	[20-64]	CRP	201805	0.27	199812	
da6e7d01e0ae4d8f867c7347dcca1euaoe99uqka2ae12k	大阪府	1	[20-64]	CRP	201811	0.21	199812	
ca1euaoe99uqka2ae12kda6e7d01e0ae4d8f867c7347dcc	大阪府	1	[20-64]	[血沈]	201804		199808	
ca1euaoe99uqka2ae12kda6e7d01e0ae4d8f867c7347dcc	大阪府	1	[20-64]	[血沈]	201805		199808	

- **Statistics**

Aggregated data with statistical processing for raw data.

By statistical processing, this is data with strong anonymisation that meets the requirements by the Act on Personal Information Protection.



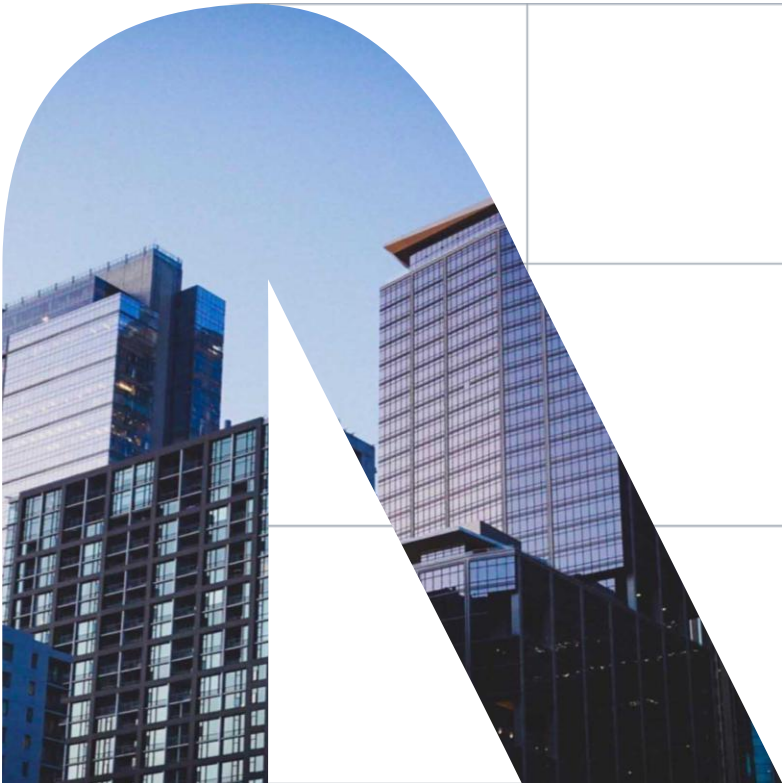
[Reference] Use case of RWD utilization in various sector

Various divisions of pharmaceutical companies can use our data. The number of use cases are increasing.

	Before the launch of product	After the launch of product
R&D	<ul style="list-style-type: none">Finding unmet medical needs. (Hypothesis search)DB research for approval. (Collection of control group)	<ul style="list-style-type: none">Drug repositioning /expansion of drug application.
MA	<ul style="list-style-type: none">Understanding treatment flow for existing product(s).	<ul style="list-style-type: none">Finding evidence. (Outcome study)
HEOR		<ul style="list-style-type: none">Understanding treatment flow for the product(s).Health Economics and Outcomes Research.
PV	<ul style="list-style-type: none">Understanding safety related event for existing product(s).	<ul style="list-style-type: none">Post-marketing database survey<ul style="list-style-type: none">- Outcome validation studyUnderstanding safety related event for the product(s).

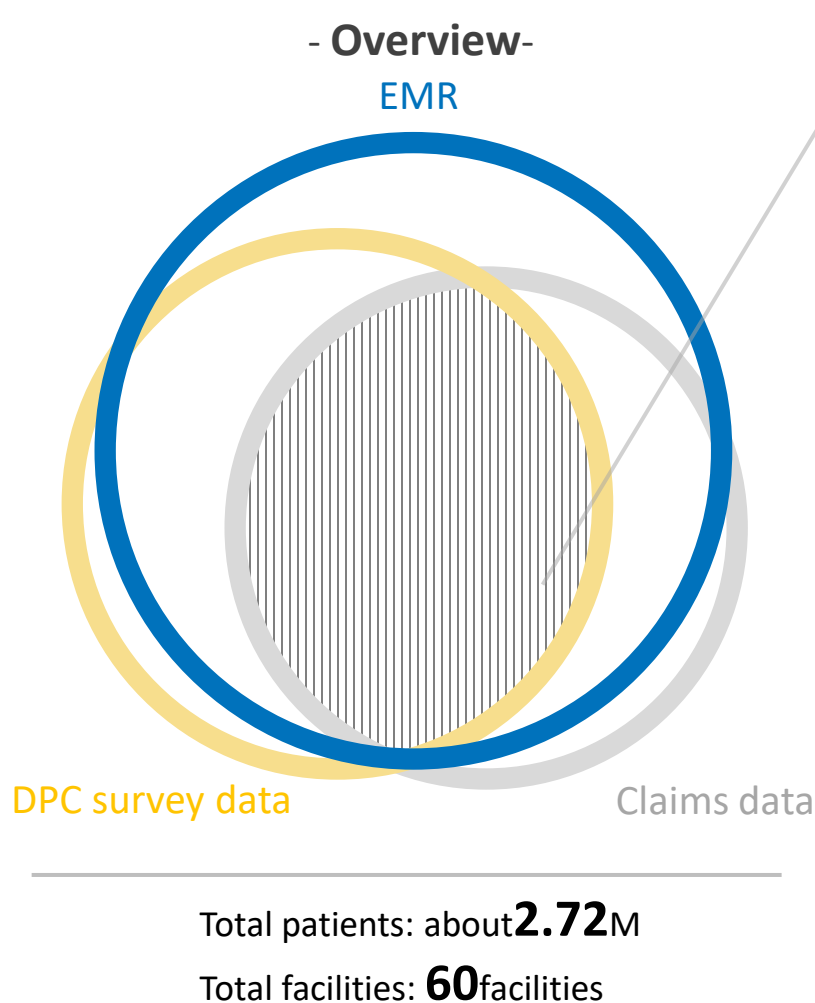
3

Recent update



3-1. Available facilities and data volume

We have more than 1.9 million patients with electronic medical records, DPC, and claims data. We will continue to collect data to meet your expectations for various real-world database studies.



- Available data for DB study -

- Data volume -

about **1.94M**

- Data period -

~Sep 2024

※The beginning month when data is available depends on the facility (Jan 2016~)

- Available facilities -

24

Mostly large hospitals with an average of **600** beds

- Kyoto University Hospital
- Miyazaki University Hospital
- Kinki University Hospital
- Fukui University Hospital
- Osaka Red Cross Hospital
- Nagahama Red Cross Hospital
- Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital
- Kameda Medical Center
- Kameda Morinosato Hospital
- Saga Prefectural Hospital Koseikan
- Kobe City Medical Center General Hospital
- Kobe City Nishi-Kobe Medical Center
- Kobe City Medical Center west Hospital
- Kokura Memorial Hospital
- Shizuoka General Hospital
- Shizuoka Children's Hospital
- National Cardiovascular Center
- Oita University Hospital
- Keiju Medical Center
- Yame General Hospital
- Sasebo City General Hospital
- Niigata University Medical & Dental Hospital
- Minamata City Hospital and Medical Center
- Japan Baptist Hospital

3-2. Use cases

As of Mar 2025, out of 48 use cases, electronic medical record (test result OR/AND text) has been used in all studies. For specific examples of use cases, please feel free to contact our sales representatives.

Use case examples

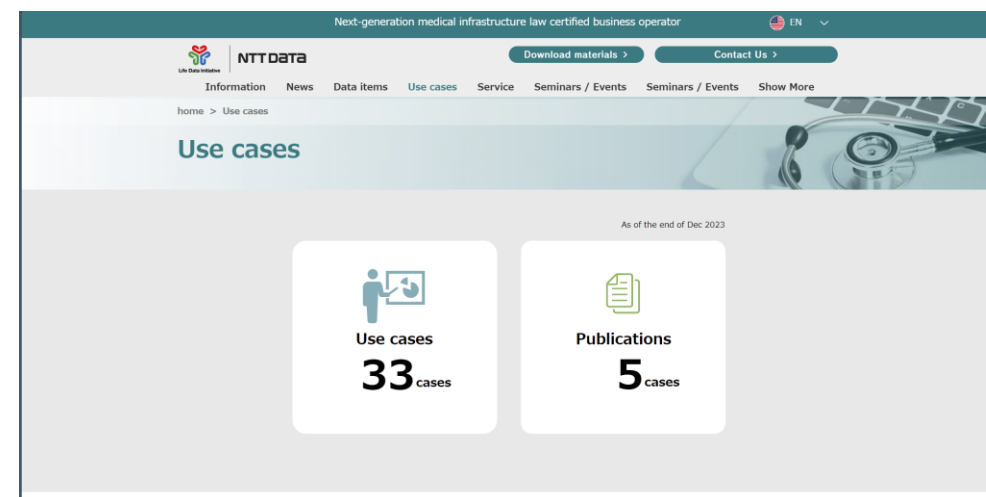
利用目的等審査委員会 承認実績

2024年7月31日時点

No.	承認日	課題名	活用データ項目			活用者区分
			電子カルテデータ	DPC調査データ	レセプトデータ	
1	2020年10月20日	乳癌のサブタイプ別、治療実態を探索するための千年カルテデータのFeasibility	●	●	●	アカデミア
2	2020年10月20日	がん患者の臨床アウトカムにおけるEHRデータベースを用いた評価方法の後ろ向き研究	●	●	●	民間企業
3	2021年1月15日	自己免疫疾患領域における寛解指標のフィージビリティ確認	●	●	●	民間企業
4	2021年3月5日	検査値等を用いたウイルス性肝炎患者研究のフィージビリティスタディ	●	●	●	民間企業
5	2021年5月26日	検査項目の多施設実用手法開発を目的とした研究	●	-	-	アカデミア
6	2021年7月15日	非構造化データの評価方法確立を目的とした研究	●	-	-	民間企業
7	2021年7月15日	希少疾病領域における症状把握を目的としたフィージビリティ検証	●	●	●	アカデミア / 民間企業
8	2021年7月15日	乳がんデータ項目に関するフィージビリティ調査	●	●	●	民間企業
9	2021年8月31日	匿名加工医療情報のAI研究への利活用可能性の検討	●	●	●	アカデミア
10	2021年9月28日	心不全データベース研究のためのFeasibility調査	●	●	●	民間企業
11	2021年10月28日	感染症に対するTreatment flow 及び 関連医療費の推計	●	●	●	民間企業
12	2021年10月28日	がん患者の臨床アウトカムにおけるEHRデータベースを用いた評価方法の後ろ向き研究ー自然言語解析ー	●	●	●	民間企業
13	2021年11月30日	肺がん・乳がん患者の治療実態把握及び病気の進展に関する因果探索	●	●	●	民間企業

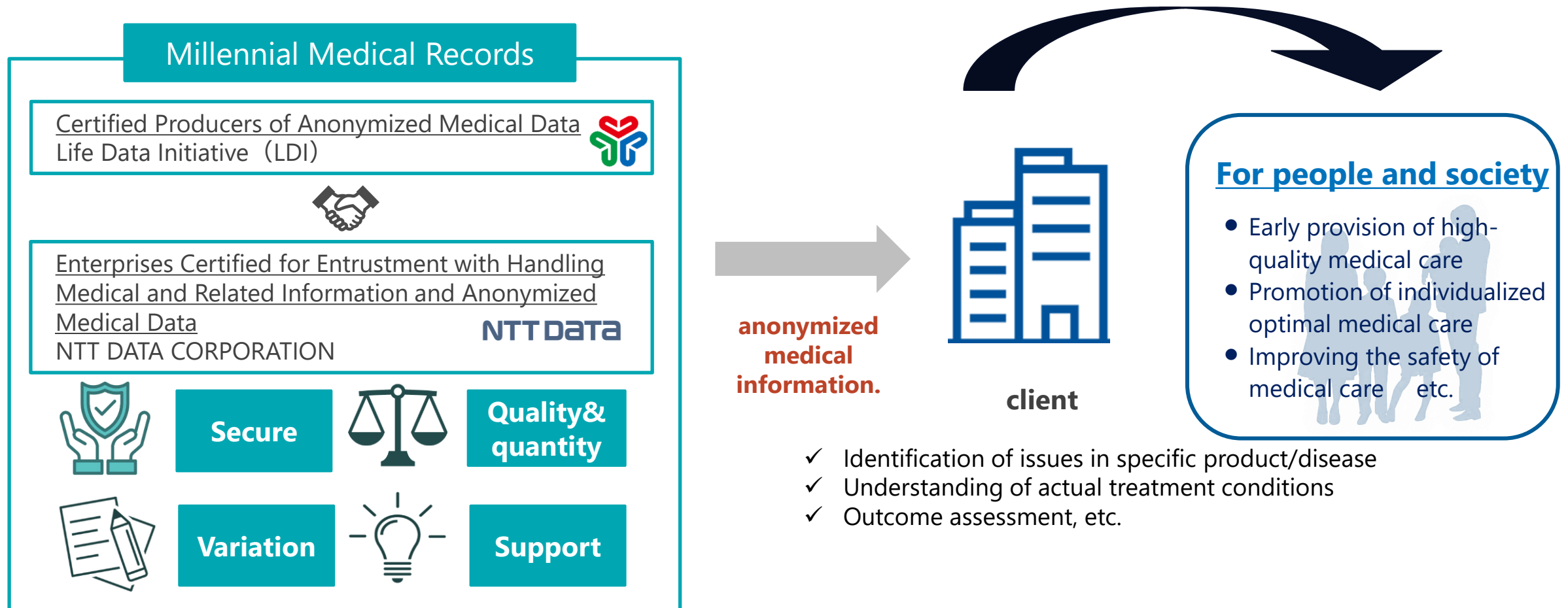
1 / 3

※For the latest results, see the website.(Japanese only)
[Use cases | ライフデータイニシアティブ / NTTデータ | 千年カルテ \(Idi.or.jp\)](#)



Summary

Millennial Medical Records is committed to solving social issues in life sciences under the Next Generation Medical Infrastructure Act and to supporting client research and development and creation of new industries through service of providing anonymized medical information.



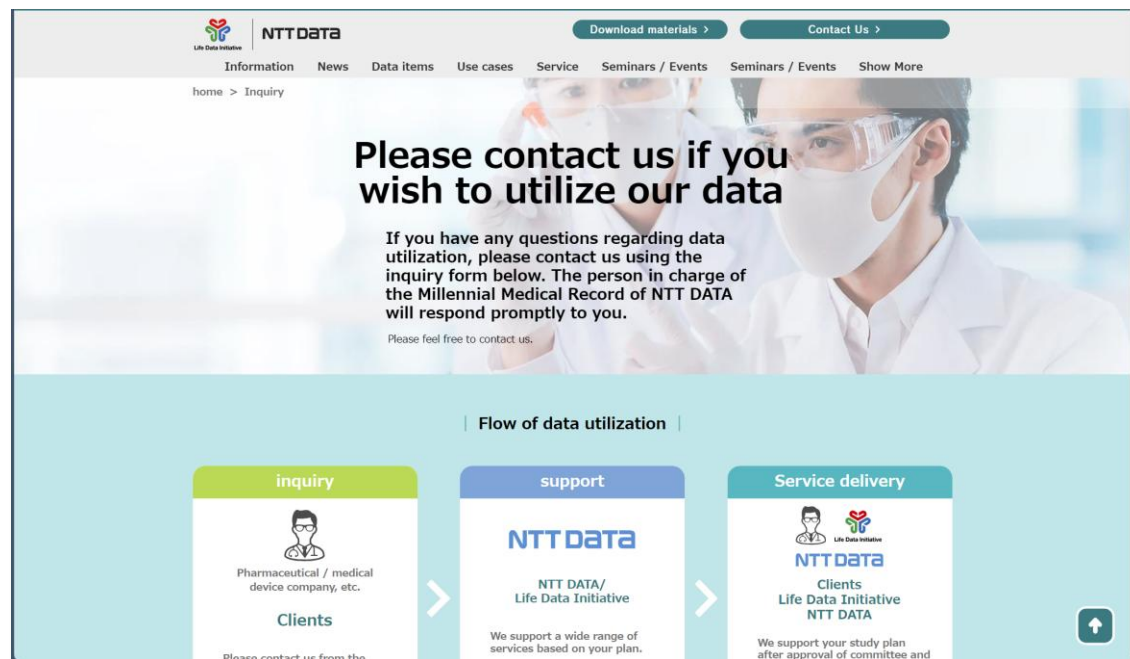
Contact information

If you have any questions about data utilization, please contact us using the enquiry form on the website. A representative from Life Data Initiative and NTT Data will respond as soon as possible.

- When accessed via the URL

[データ利活用希望お問い合わせ | ライフデータイニシアティブ / NTTデータ | 千年カルテ \(Idi.or.jp\)](https://www.lidi.or.jp/en/contact)

<https://www.lidi.or.jp/en/contact>





Life Data Initiative

NTT DATA